



白井 進 議員
(進新会)

政治の原資であり、最優先すべき公平公正な地域格差なき選挙が執行されるために

白井 1カ所の期日前投票所は、公平公正か。予算や人員確保の阻止要因ぐらいならば、芝川・北部地域の出張所をめどに増設・増設は必要不可欠と断ずるがどうか。

選挙事務局長 現行法のもとでは公平公正だが、投票環境の整備は必要と認識する。直中には、増設不可となる要因に、人員確保と必要経費がある。現時点では、慎重にならざるを得ないが、総務省の投票機会の創出、利便性の向上に向けた指針作成の今後に期待し、有権者数・投票所距離・高齢者対策・優先順位等を総合的に勘案し、調査研究する。

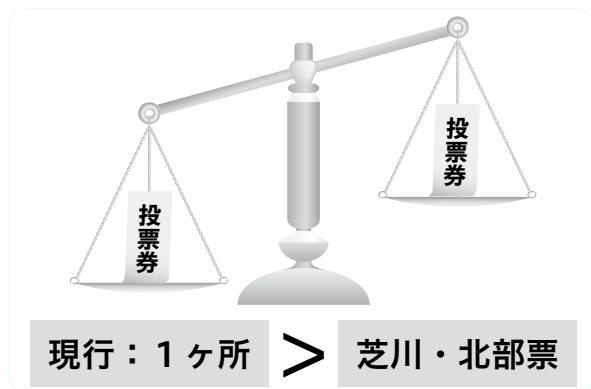
白井 選挙は政治の原資。厳格に執行する命題ならば、出費は必然であり、当然。先進の沼津市・静岡市を追い越し、県下トップランナーと標榜できる当市となるよう、芝川・北部地域の出張所レベルで増設することを強く望みたい。議員定数を削減しても、経費・費用は捻出すべ

き。「脱皮できぬ蛇は減じる」とのことわざがある。なれ合いで、今までどおりやっていけば厳格なものでも保てるといったところに安んじ、考えを置かないで、大いに先取の気持ち。

白井 4年に1度の改選期でさえも告示日と重なる市民一斉清掃運動を重複設定とならぬよう、日程変更をすべきと思うがいかがか。

環境部長 田植え時期を考慮。自治会・協力諸団体・清掃センター・職員職員の調整や年度末、年度初めの多忙な時期をクリアする協議が必要だが、次回の統一地方選に向け実施日を考える。

白井 1週だけでも移動することを切望する。



▲期日前投票所の有無による地域利便性格差



佐野 寿夫 議員
(公明会)

富士宮市の重症心身障がい児(者)の支援体制と専門医師の現状について

佐野 当市に対して、静岡富士病院から統合構想の報告はあったのかどうか。

保健福祉部長 平成26年11月と12月に、独立行政法人国立病院機構から建物の老朽化や患者の高齢化への対応が難しいことなどを理由に、清水町の静岡医療センターに統合する計画があると説明を受けている。

佐野 同院と当市の障がい児(者)のかかりと概要について伺う。

保健福祉部長 同院は昭和17年12月、大宮陸軍病院として創設され、昭和20年12月1日、厚生省に移管され、国立富士病院となった。平成16年4月1日に独立行政法人国立病院機構静岡富士病院へ移行され、今は国から離れて独立した病院として運営されている。また、当市の生活介護事業と短期入所事業を病院内の施設「さくら」で実施している。

佐野 専門医師の育成・確保について伺う。

保健福祉部長 県では「ふじのくに地域医療センター」を設置し、医師確保対策に取り組んでいる。市として、医療施設や専門医師について、国や県に強くお願いしていきたいと考える。

富士宮市の文化芸術の普及と文化意識高揚の施策について

佐野 市民が身近に芸術に触れ、学べる場所について伺う。

教育部長 市民の約1,600人が出品、舞台発表する市民芸術祭や富士山環境交流プラザの委嘱作家展などが、多くの市民に鑑賞していただく場になっていると考える。



▲2014市民芸術祭 洋画の部 芸術祭賞
「刻の残像」 望月 正江様